

# 子跡 議会だより



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

市外・県外からも、七宝焼アートヴィレッジへ社会見学に訪れる小学生たち



**市の家計簿 慎重にチェック！**

**歳出総額 403 億円を認定**

**市民病院 甚目寺総合福祉会館 西隣りに**

**市の考えを問う(14 議員が一般質問)**

**「市民の声」を募集します**

2

4

10

13

20

# 22年度予算の執行状況や 事業実施の適正など 市の家計簿を

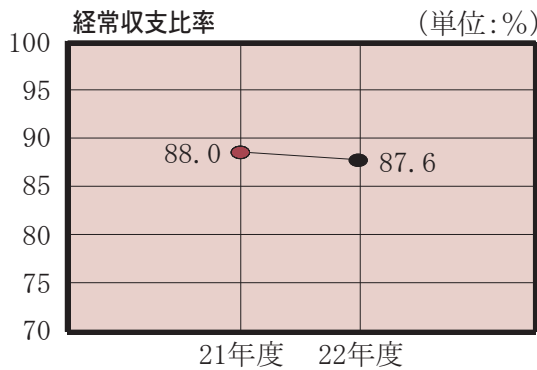
(七宝焼アートヴィレッジの展示室)



七宝焼の社会見学に来た県外からの小学生。しっかりとした  
チェックの姿勢を、市政でも活かしたいものです

## 行

政経営の改善には、計画(PLAN)↓実施(DO)↓評価(CHECK)↓改善(ACTION)の「PDCA」サイクルを回していくことが必要です。決算とは、その中のCの評価にあたり、財政状態を明らかにする作業でもあります。平成22年度の決算審査の結果は、平成24年度予算に反映されることにもなりません。また、下記のグラフは経常収支比率です。市税や普通交付税等の経常的な一般財源収入に対して人件費、扶助費、



公債費等の義務的性格の経常経費の割合をいい、数値が低い方が財政構造に弾力性があります。22年度の経常収支比率は87・6%となり、21年度の88・0%より0・4ポイント改善されました。

## 普通交付税

13億6815万円増加

## 歳

入は、個人市民税が5億467万円の減収。平成20年のリーマンショック以降、景気の低迷に伴い、企業が業績回復のため行った人件費の削減およびリストラなどで平成21年中の個人所得も大きく減少したことが考えられます。また法人所得は低迷していましたが、エコカー補助金な

## 歳

出の主な事業は、歳入でも触れました、生活保護扶助費などの規模の大きい事業を開始したことや、児童手当から子ども

の特需による自動車産業の回復、経費削減による企業努力などから、法人市民税は、1億5796万円増加しました。普通交付税も、市への移行に伴い新たに生活保護や児童扶養手当などに対する経費が算入されたことなどにより、13億6815万円の増加となりました。また、木田駅周辺整備・甚目寺駅周辺整備や街路事業(遠島桂線はじめ)など旧町時代に着手したハード事業を引き続き実施し社会基盤の整備を行いました。あま市民病院は、市の地域医療を守ることを使命として良質な医療サービス提供に寄与しました。



# 慎重にチェック

9月定例会は、9月6日から9月29日までの24日間で開かれました。6日には市長の報告や議案の説明が行なわれ、12日、13日と一般質問。その後、一般会計の決算を審議しました。14日には一般会計、特別会計および、企業会計の決算、条例改正、補正予算などを審議し、それぞれ所管の常任委員会でも集中審査。29日最終日に、提案された認定案13件、議案8件は、原案のとおり可決し、総務文教委員会に付託されていた陳情書1件は、賛成少数で不採択となりました。

## 財政の比率

### 基準下回り「健全」

平

成22年度決算に基づく市財政の「健全化判断比率」と「資金不足比率」が報告されました。両比率は毎年度、監査委員の審査に付した上で議会に報告することとされています。健全化判断比率のうち、いずれかの比率が早期健全化基準以上になった場合、市は「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化を図ることとなります。市の平成22

年度決算の健全化判断比率は次の表のとおりで、いずれも国が定めた基準を下回っています。

健全化判断比率

比率名	平成22年度	早期健全化基準	比率の内容
実質赤字比率	赤字なし	12.68%	「一般会計等の実質赤字額」の標準財政規模(人口や面積などから算定する国が決める経常一般財源の規模)に対する比率
連結実質赤字比率	赤字なし	17.68%	「公営企業会計を含む全会計の実質赤字額、資金不足額」の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	6.7%	25.0%	「一般会計等が負担する地方債(借入金)の元利償還金など」の標準財政規模に対する比率
将来負担比率	14.7%	350.0%	「借入金や債務負担行為による支出予定額など将来的に支出することが見込まれる額から積立金などの充当可能財源を控除した額」の標準財政規模に対する比率

今

定例会では、一般会計と6つの特別会計に、総額で18億6673万円を追加する補正予算を可決しました。このうち、一般会計には13億1930万円を追加し、予算総額を267億4394万円としました。歳入予算の主な内容は、国民健康保険特別会計はじめ6特別会計から前年度繰出金の確定に伴う繰入金3億2737万円および前年度決算確定に伴う繰越金9億6406万円。(財)自治総合センターからは、コミュニティ助成事

業として690万円計上しました。歳出の主なものは、外国人住民に係る住民基本台帳システムなどの改修委託料に3675万円となっています。一方、特別会計には国民健康保険に2億3468万円、簡易水道に356万円、市営住宅管理事業に254万円、介護保険に1億1028万円、公共下水道事業に1億1482万円、後期高齢者医療に8153万円をそれぞれ追加しました。(関連質疑を8、9ページに掲載しています。)



# 22年度 決算

# 歳出総額 403 億円を認定



綺麗に焼き上げられた七宝焼を見学する小学生。七宝焼は、あま市のシンボルの一つ（七宝焼アートヴィレッジ）

# 一般会計 歳出は5億 2301 万円減少

22年度決算は、  
9月13日、14日の2日間の本会議と3つの常任委員会に付託され、  
審議されました。

ここでは一般会計と9つの特別会計（企業会計は除く）の  
歳入総額429億9304万円、歳出総額403億9895万円の決算の審査の  
中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

## 平成22年度各会計の決算

会計名		歳入	歳出	
一般会計		266億1463万円	249億9952万円	
特別会計	国民健康保険	94億6280万円	88億1812万円	
	土地取得	238万円	238万円	
	住宅新築資金等貸付事業	4254万円	218万円	
	簡易水道事業	5140万円	4784万円	
	市営住宅管理事業	6222万円	5667万円	
	老人保健	1939万円	1939万円	
	介護保険	保険事業勘定	37億7899万円	36億6870万円
		サービス事業勘定	1692万円	796万円
	公共下水道事業	17億1708万円	16億226万円	
後期高齢者医療	12億2465万円	11億7387万円		
合計	429億9304万円	403億9895万円		
21年度決算		453億5206万円	412億8840万円	

注) 合計欄は、各会計の端数処理により一致しません。

22年度の一般会計の決算額は、歳入合計266億1463万円、歳出合計249億9952万円です。21年度に比べ、

歳入は14億9304万円、歳出は11億7387万円減少しました。22年度決算は、本会議での2日間と常任委員会での3日間にわたって慎重に審査。その結果、

歳入では22億5700万円、歳出では5億2301万円の減少です。しかし、21年度決算の合併準備経費や合併協議会の精算金など除くと、

常任委員会では、提案された決算すべてを認定すべきものと決定。29日に開かれた本会議で認定しました。



# 歳入歳出の差額は16億円 その理由は

**問** 一般会計の実質収支に関する調査で、歳入歳出の差引額が16億強と、非常に大きな数字。23年度予算では、基金を大幅に取り崩さないと予算が組めないような状況ということでスタートしていますが、これほど大きな差が出ているので、歳入歳出に分けて、主な理由と、また、精度は上げられませんか。

**企画財政部長** 予算現額より収入が6億円上回り、予算現額より支出が10億円下回ったことにより、16億円となりました。収入6億円の主な理由は、市税が3億円、特別交付税が3億5000万円です。

支出10億円の主な理由は、生活保護扶助費が8000万円、子ども医療扶助費などの3000万円、自立支援給付費など

の2000万円、予防接種委託料などの3000万円、ごみ処理委託料などの2000万円などです。

22年度決算は、市としての実質的な最初の決算となり、予算編成を行う段階で、新たに取り扱うこととなった事務事業や、合併協議において制度の統一や調整が行われた事業を中心に、過去のデータがなかったのも1



収納課の窓口

つの要因です。

歳入は、支出の財源として、確実に見込める歳入を計上することが基本となります。市民税は経済情勢に大きく影響され、予算と決算にある程度の差が生じることもあったかと思えます。特別交付税は、国が算定を行うため、市が交付される金額を正確に見込むには限界があります。しかし今後は、22年度決算や23年度予算の執行状況を十分に検討、分析し、個々の事務事業の予算額や歳入予算額を的確に見積もり、歳入歳出差引額の精度を上げていくよう努めます。

**問** 市税の収入未済額の現在までの収入済額、および未納継続者、あるいは洪っている人に対して、どのような方法で収入を上げるよう努めますか。

**総務部長** 平成23年7

月末の滞納繰越分の市民税、個人の金額は4212万5000円、法人は66万円、固定資産税は3575万6000円、軽自動車税は99万3000円で、合計7953万4000円。昨年の同月5773万1000円に対し2180万3000円増加し、約37・8%増になっています。

未納に対する対処は、催告書、財産調査、差し押さえなどと、納税相談を実施したり、県西尾張地方税滞納整理機構と連携をとり、税込確保に努めています。

**問** 不納欠損額は4800万円強です。不景気やさまざまな理由もあると思えますが、5年、10年、蓄積されれば、何億という単位になります。不納欠損に至るまでの未収分をいかに抑えますか。

**総務部長** 不納欠損額の主な対象者数は127

経済効果が見込まれる  
企業誘致



欠損額の減少にさらなる努力をしていきます。

**問** 監査委員報告では、地域経済の下支えや地域に振興なくして、市税の増収も難しいということに触れています。滞納の問題が厳しい中、収納対策だけで、市の発展はありえないと思えます。市税の増収の施策はどのように考えていますか。

**市長** 8万8000人の市民の生活や行政サービスなどをきちんと提供するのが我々の仕事です。企業誘致も必要と考えています。それも税収の一つ、財源の一つです。未納の方々には、お支払いをしてもらうかも考えていかなければいけません。今策定中の総合計画を題材に、今後の形づくりを前に進めていきます。

## 木田郷南の土地 区画整理の計画は

**問** 木田郷南の土地区画整理業務委託料ですが、これの計画、概要は、どういふものですか。

**建設産業部長** 市街化区域にもかかわらず、計画的なまちづくりがされていないため、土地の有効活用ができない状況でした。良好な市街地形成をするため、都市基盤整備である組合施行の土地区画整理事業が計画されました。22年度に施行予定地区報告書を作成し、県に提出するための委託業務を発注しました。内容は、まちづくり基本調査が主なものです。

**問** 側溝清掃工事ですすが、どの場所を何メートルの工事ですか。大字区要望がありますが、大体何パーセント、清掃できましたか。

**建設産業部長** 幹線道

路が主であり、地区からは多数の要望があります。現地調査を実施し、側溝内の堆積物が多い箇所を全体として16地区で約3000メートル施工しました。

22年度、地区幹線道路での側溝内の堆積物が多い箇所の清掃は、ほぼ要望どおり実施できました。生活道路は、地区との協働により土のう袋を配布したり、地区で側溝清掃を実施し、側溝から



七宝焼アートヴィレッジでの実習風景

出た堆積物は市で処分しています。

**問** 大体要望どおりとのことですが、なかなか掃除がやつてもらえないとか、申請するのめやめたという人もいると聞きますが。

**建設産業部長** 各大字区長さんから、いろいろな要望を承っています。限られた予算の中で、優先度が高いところから順番に清掃などを進めたいと思います。

**問** 七宝焼アートヴィレッジの入館者の状況ですが、どうでしょうか。

**建設産業部長** 平成22年度の七宝焼アートヴィレッジの使用料は773万1768円で、来館者は9万8086名、このうち有料展示室への入館者は6967名、展示室観覧料は118万4080円でした。

## 避難所の開設、 自主避難者への対応は

**問** 甚目寺総合福祉会館ですが、台風15号に伴って、第3非常配備体制になりました。各センター

そして会館、小学校など、避難所として開設しましたが、自主避難した人の対応は、いかがでしたか。

**健康推進課長** 甚目寺総合福祉会館の避難所としての定員は、400人です。9月20日の午後3時過ぎから、避難者がお見えになり、総勢12人の方が自主避難されました。

**問** そうした状況で、必要になってくる食糧、毛布などはありますか。

**健康推進課長** 毛布とか非常食は、会館のほうで備蓄しています。

**問** 防災訓練を22年、あるいは23年もやりましたが、来るべき災害を想定した訓練も必要ではないですか。

**安全安心課長** 昨年は想定をした訓練を実施しました。今年も想定を外しましたが、来年からは想定を入れて行っていきます。

**問** 台風の影響で警報が出て、どこに避難していいのかわからないという声がかれました。その時点では避難所のどこが開設しているのかわかる方法が難しく、とりわけ高齢者からそういう声が続出しましたが、どういふふうに改善しますか。

**安全安心課長** 避難所は5月号の広報に掲載しました。現在ハザードマップ

を作成中です。あま市に警報が出た場合、速やかに3カ所、七宝・美和保健センター・甚目寺総合福祉会館をまず開設することも含め市民に配布をしていきます。

**問** 市内の3カ所の避難所以外にも、避難所を開設しましたが、その内容が住民にどれだけ届きましたか。

**安全安心課長** クロバーテレビにも載せましたが、情報は市民の方、全部にいきわたらせん。FMラジオとか今後1人でも多くの方へ情報が発信できるようにしていきます。



甚目寺総合福祉会館1階にある避難所となる和室



**問** 被災地からくる放射能ですが、今現在は、放射能測定器があります。保育園、砂場など、放射能の点検などはされていますか。

**子育て支援課長** 震災に近いところでもまだ今のところは、測定器の使用はありませんでしたので、見合わせています。

**問** 生活保護返還金で63条と78条がありますが、内容と件数は、どうなっていますか。

**社会福祉課長** 63条返還金は、被保護者は急迫の場合などにおいて資力があるにも関わらず、保護を受けた時に保護に要する費用を支弁した市長に、その者から徴収することができると、89件ありました。78条は、不実の申請、その他不正な手段により保護を受け、または他人をして受けさせた者があるときは、保護を支弁した市長



は、その者から徴収することができると、昨年度は26件ありました。

## 介護保険、要介護者の動向は

**問** 介護保険ですが、現在、要介護者の動向はどのようになっていますか。

**高齢福祉課長** 65歳以

上の方が1万8000人ほどで、要介護認定者は、65歳から75歳以上の方が450人程度、75歳以上の方が1750人程度です。高齢化率は、今現在21%で、毎年1%ぐらい増えています。

認定度の状況は、要支援は500人程度、要介護度1が360人程度、要介護度2が410人、要介護度3が430人、要介護度4・5がそれぞれ250人程度です。

**問** 介護者も1割ほど増えていく状況です。このような方を増やさないための施策はされていますか。

**高齢福祉課長** 今、特定健診という形で、満65歳以上の認定を受けていない方に、毎年春に健康チェックを全世帯の対象者に送っており、要介護度、要支援になるおそれのある方には健康教室などを実施しています。

## 中長期的に持続可能な行財政基盤の確立を図り 災害に強いあま市のまちづくりを 要望する



本会議で決算審査報告をする  
横橋俊一代表監査委員

### 決算審査意見書

各会計の歳入歳出決算書および附属書類は、い

産業経済活動にも大きな影響を与えており、市内企業の業績にも見通しを立てることが困難な状況と考えられる。

ずれも関係法令などに準拠して調製されており、計数は正確であった。また事務事業においても適正な予算執行および、財政運営と認めた。基金の運用状況についても、計数は正確であり、適正に運用・管理されているものと認めた。

この状況を踏まえ、あま市においても厳しい経済情勢に対応して、地域経済の支えや地域振興に資する施策、さらには地域社会の安心・安全の確保に必要な施策に積極的に取り組むとともに、歳入歳出両面にわたり、財源確保や事務事業の重点化、効率化に努め、中長期的に持続可能な行財政基盤の確立を図り、災害に強いあま市のまちづくりを要望するものである。

監査委員による一般会計・特別会計の決算審査は、6月7日から7月27日まで行われました。本会議で報告された審査意見書の内容を要約してお知らせします。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、平成22年度決算においては、一部予算の執行ができず事故繰越になったケースも見受けられたが、決算に大きな影響はなかった。しかし、



# 甚目寺総合福祉会館内

## 保健センターの窓口

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	13億1930万円	267億4394万円
国 民 健 康 保 険	2億3468万円	95億8932万円
簡 易 水 道 事 業	356万円	4808万円
市 営 住 宅 管 理 事 業	254万円	6298万円
介 護 保 険 (保 険 事 業 勘 定)	1億1028万円	40億71万円
公 共 下 水 道 事 業	1億1482万円	18億4630万円
後 期 高 齢 者 医 療	8153万円	13億5952万円

## 補正予算

23年度補正予算は、9月14日の本会議と各常任委員会に付託され審議されました。新規の救急医療情報キット配布事業や(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業などの一般会計の補正予算について、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。



# 救急医療情報 キットとは

**問** 救急医療情報キット  
配布事業とは。

**市民生活部長** 円筒形の  
プラスチック容器と、そ  
の中に入れる救急情報用  
紙1枚と、ステッカー3  
枚で構成しています。

救急情報用紙に氏名、  
生年月日、かかりつけ医  
療機関、緊急連絡先、服  
薬内容などを記入し、そ  
の他ご自身の写真、健康  
保険証の写し、診察券の  
写しなどを容器の中に入  
れ、冷蔵庫に入れます。  
救急隊員が到着したと  
き救急医療キットが冷  
蔵庫の中にあることが  
わかるよう、冷蔵庫のド  
アと玄関の内側にス  
テッカーを張っていた  
できます。

配布対象者は、健康上  
の不安を抱えている人  
に年齢に制限なく配布  
します。今のところ市内  
3保健センターで申請

をしていただき、配布す  
る予定です。

**問** 病名が変わって、服  
薬内容も変わる場合に交  
換がうまくできますか。

**健康推進課長** 救急医療  
情報キットの内容が変  
わった場合は、書き直し  
ていただく必要がありま  
す。保健センターで白紙  
の用紙は用意してありま  
す。

**問** 病気が変わったら、  
いちいち保健センターま  
で取りに行くのも大変な  
ので、複数枚渡してもら  
うことはできますか。

**健康推進課長** 当初は

セットで1枚お渡しする  
予定ですが、窓口にて追  
加の申し出があれば、お  
渡しします。

**問** まちづくり事業推進  
基金ですが、決算で7億  
6700万円で、補正で  
3億5000万円積み、  
合計11億1700万円余  
り。使い道がはつきりし  
ないのに、財政調整基金  
には9900万円を積み  
だけです。財調に積んで  
いくほうが良いのでは。

**財政課長** この基金は、  
公共施設の充実など市政  
の発展の基盤に資するま  
ちづくり事業の

円滑な推進に必  
要な財源を確保  
するものです。  
今後、施設の老  
朽化などに対応  
するために幅広  
く施設整備、改  
修、修繕に充  
当していきたいで  
す。

# コミュニティ助成とは

**問** 財団法人自治総合セ  
ンターが定めましたコ  
ミュニティ助成事業は、  
どういった団体が受けら  
れますか。

**企画政策課長** 地域社会  
の健全な発展を図るため  
の事業を行うもので、そ  
うしたコミュニティの活  
動を行っている団体、地  
域防災に関係する育成の  
事業団体、また青少年健  
全育成を行っている団体  
など、地域社会の活動を  
している団体への幅広い  
助成です。

**問** 今回3団体ですが、  
今後、各種団体にはどう  
呼びかけていきますか。

**企画政策課長** 市が情報  
発信しますので、市民へ  
の周知など検討し図って  
いきたいです。

**問** コミュニティ活動を  
される団体は、年単位で  
活動すると思われま  
す。通常当初予算の中

市民課の窓口



組まれませんか。改善で  
きるのですか。

**企画財政部長** 各コミュ  
ニティ組織は、大字の財  
源などいろいろな形で運  
営されていると思いま  
す。今回は、交付決定が  
6月となり、9月で行う  
ものです。通常、もう少  
し早い時期に交付決定さ  
れますが、毎年同じ市が  
助成されることは難しい  
です。

**問** 住基法などの改正で  
外国人住民に係る住

民基本台帳システム等改  
修委託料ですが、外国人  
に対して、医療や社会保  
障など市町村の行政サー  
ビスから遮断させる恐れ  
があります。住民台帳  
に外国人が記載されない  
どうなりますか。

**市民課長** 今までは、外  
国人登録法が施行され  
例、規則、要綱などで、  
対象者の記載があれば、  
行政サービスを受けられ  
ましたが、住民基本台帳  
法および入国管理法の改  
正で90日未満の在留期間  
の者は、住民登録から除  
外されます。現在外国人  
登録者数は、9月1日現  
在で1466人、この内  
90日未満の在留期間の方  
が40人ほどみえます。

行政サービスの提供  
は、自治体により判断は  
異なりますが、住民登録  
外のシステムメニュー  
で、そういった方々を把  
握して、それぞれの主管  
課が検討していくこと  
になります。

救急医療情報キット





市民病院

甚目寺総合福祉会館西隣りに  
甚目寺庁舎の東側

7月12日に改選後、2回目となる市民病院建設調査特別委員会が開催され、執行部より建設候補地や今後のスケジュールについて、説明がありました。9月14日の本会議では、22年度のおま市病院事業会計の決算審議がされ、厚生委員会にも付託。賛成多数で最終日に認定しました。ここでは、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

救急車両や一般利用者の交通の便  
県道給父・西枇杷島線を最大限活用



# 市民病院建設調査特別委員会にて

## 初

めに建設候補地の説明がありました。場所は、甚目寺庁舎の東側で、甚目寺総合福祉会館の西隣りです。救急車両や一般利用者のアクセス（交通の便）として、県道給父・西枇杷島線を最大限に活用でき、新病院の規模に必要な敷地面積（約1万6000㎡）を一団の土地として確保できるのが主な選定理由です。

現時点は事前調整であり、今後、地権者への説明会や県の開発許可など調整を行った上で、正式に認められます。「地主への理解の状況はどうですか」との問に執行部から「地権者の理解が得られるよう進めていきたい」とのことでした。

## 次

に、今後のスケジュールの説明があります



市民病院会計窓口

た。7月に地権者への説明会を開催し、用地交渉に入ります。基本設計業務は、参加者から提出された提案書（プロポーザル）により行い、25年度には建設工事に着手し、27年度開院の目標です。

当初構想案では、26年度開院の計画でしたが、用地関連手続きなどにより、27年度開院を目指しています。

「事前に病院システムに、どういう構想で、これだけやれば赤字にならないよというものをプロポーザルする前に、お願いでできないか」との間に「事前にコンサルタント業務を発注している。新病院の経営スタイル、医療機器の配備など、黒字になるような経営方法をお願いしている」との回答でした。

「液状化の問題で病院機能が喪失する心配がある。地盤の調査など、液状化に耐え得る病院を」との間に「60億円の経費には、免震の部分や、地盤の強化も入っている。また、建てようとしている隣には、総合福祉会館があり、そちらと連携を組むこともできるので」との回答でした。

今後は、県への開発許可などスケジュールに沿って、特別委員会としては、建設候補地、スケ

ジュールの報告を受けた形で、委員会を閉会しました。

## 未処理欠損金が1億8000万円あるが

**問** 今回の当期未処理欠損金として、1億8000万円ほどあります。これまでの累積の赤字と負担金などを考えると、毎回毎回累積が広がっていきます。このまま病院を建築されるのは、いかがなものですか。

**市民病院事務局長** 22年度の病院事業決算には、不良債務は発生していません。

貸借対照表に記載される欠損金とは、現在までの単年度で、損益計算書上、発生した欠損金で、それが累積したものが累積の欠損金です。毎年、損益計算書に計上される

診察待ちの人々



こす不良債務が発生させないことが、重要だと考えています。

**問** 刈谷市は、民間委託をしました。当市は財源ともなる大企業もないわけですし、市民負担はかなり増えてくると思いますが。

**市長** 全国的には、約25年に一度はほとんどの病院が建て替えています。あま市民病院は、もう40年以上経過しています。

子孫に負担をかけないよう、今が最適な時期だと考えていますが、行政だけで運営ができない状況になっていきます。

建て替えるにあたり、27年度までにはしっかりと勉強し、次の段階の病院運営に対して、いかに負担がかからない方法を、今後も研究をして、国にも要望をしていく必要があると思います。

減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、その部分が病院の内部留保の資金となり、現金支出を伴わない費用として計上されます。減価償却累計額以下の累積欠損金であれば、病院経営上余り問題はありませんが、表面上は赤字でも、資金収支上は黒字になっている自治体病院は数多く存在しており、流動負債が流動資産を上回った場合は資金ショートを起こ



# 木田駅周辺整備事業 25年度には完成を

## 9月定例会で決まりました

24日間の会期の9月定例会での審議結果を一覧表にてお知らせします。

	件名	審議結果
平成22年度の決算認定（一般会計・特別会計・企業会計）	一般会計	賛成多数 原案認定
	国民健康保険特別会計	賛成多数 原案認定
	土地取得特別会計	全員賛成 原案認定
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	全員賛成 原案認定
	簡易水道事業特別会計	全員賛成 原案認定
	市営住宅管理事業特別会計	全員賛成 原案認定
	老人保健特別会計	全員賛成 原案認定
	介護保険特別会計	全員賛成 原案認定
	公共下水道事業特別会計	全員賛成 原案認定
	後期高齢者医療特別会計	賛成多数 原案認定
	七宝水道事業会計	全員賛成 原案認定
	美和下水道事業会計	全員賛成 原案認定
	病院事業会計	賛成多数 原案認定
	税条例の一部改正	賛成多数 原案可決
平成23年度の補正予算	一般会計補正予算	賛成多数 原案可決
	国民健康保険特別会計補正予算	全員賛成 原案可決
	簡易水道事業特別会計補正予算	全員賛成 原案可決
	市営住宅管理事業特別会計補正予算	全員賛成 原案可決
	介護保険特別会計補正予算	全員賛成 原案可決
	公共下水道事業特別会計補正予算	全員賛成 原案可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算	賛成多数 原案可決
	定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める陳情書	賛成少数 不採択

**ま** ちづくり交付金を活用して、名鉄木田駅南駅舎および暫定駅南広場が同時オープンし、はや一年が経とうとしています。南改札設置に合わせ、駅舎はバリアフリー化されて、お体の不自由な方などにも、よりいっそう利用しやすい駅になりました。

今後も車での送迎がしやすいロータリーや道路、そして地下式調整池などといった木田駅周辺の整備を引き続き進めていき、平成25年度に完成する予定です。



**問** 交通施設バリアフリー化設備整備補助金、8800万円超ありますが、どういふものですか。  
**建設産業部長** バリアフリー新法により、平成22年度までに1日当たりの利用者が5000人以上の旅客施設については、バリアフリー化を図ることが求められており、あま市では木田駅、甚目寺駅が対象となっていました。

た。  
木田駅は、平成21年度に設計を行い、平成22年度に鉄道事業者が工事を施工しました。工事の内容は南駅舎、スロープ、段差解消、情報提供装置、点字ブロック、多目的トイレ、手すりなどであり、名古屋鉄道株式会社に補助金として支払ったものです。



# 市政を問う

## 一般質問

一般質問は、9月12日、13日の2日間にわたり行われました。26人の議員のうち、14人が質問。市政運営の基本姿勢をたどりました。

### コミュニティFM放送の開局を

**問** 災害や事故の規模が大きくなると、被災地の情報手段は寸断される。コミュニティFM放送は、各地で好評を得ている。地域の情報、イベント、観光、コミュニティ



松下 昭憲 議員

情報などを流す方法である。行政も知識を持った地域の民間業者と連携、タイアップして、コミュニティFM放送の受信に踏み切っては。  
**市長** コミュニティFMは、車から情報の伝達もできるメリットもある。海部津島全体で、FMが流れるのは効果が大きい。が市単独でも開局に向け、前向きに考えたい。

**問** 木田駅前に葬儀会館ができるが、美和地区では駅近くの一等地で踏切もあり、交通渋滞の懸念がある。地域住民は否定的な意見もあり、住民説明会はされたのか。  
**建設産業部長** 建築基準法に合致している。法的な定めはないが、建築主は、説明会及び周辺地区のお宅を自主的に訪問し、説明した。交通渋滞の件も、よく調査をし、地域に迷惑のかららない

よう指導する。  
**中学生の通院無料化は**  
**問** 合併から離脱した大治町が中学生の通院医療費無料化を打ち出している。当市も安心して子育てができるよう、先行投資する考えはあるか。  
**市民生活部長** 年間約8000万円の支払いが増加すると推計され、難しいが、子ども医療制度の県下の状況などを含め研究をしていきたい。



コミュニティFMの災害時の活躍を報じるニュース（インターネットより）

### 特定健診・特定保健指導もつとPRを



寺本 隆男 議員

**問** 6月広報で平成21年度の受診率が30%と発表されているが、目標値は約40%でした。市長の六つの重点項目の第一に「健康で安心して暮らせ

るまちづくり」とあり、市民病院のことは、書かれているが、特定健診・特定保健指導の位置付けは、どうなっているのか。  
**市民生活部長** 法律で位置づけられた制度で、それに基づいて実施している。あま市の実施計画は24年度中に策定し、25年度から、計画に基づいて事業実施していく。  
**市長** 食生活に気を配

り、適度な運動を行っていただきたい。生活習慣に関心を持ち、理解を深めることにより、メタボ予防になると考える。  
**人間ドックの拡大を**  
**問** 人間ドックに対する補助が39歳までとなっており、受診者が少ないが、保険事業である人間ドックの位置付けはどうなっているか。  
**市民生活部長** 若いうちに健康に対する意識を高

め、健康づくり、健康維持に資する事業と考える。利用者が少ない状況からも、補助のあり方も含め、検討しなければならぬ。  
**問** 市民病院で人間ドックを行わない理由は。  
**市民病院事務局長** 待合室が一ヶ所しかなく、一般患者と混在してしまうのが現状。新しい病院では、今後専用の入り口を設けてやっていきたい。



現在の市民病院正面玄関



教室に設置されている扇風機



市で実施している緊急通報装置

## 災害時対策・スポーツの推進・動物愛護

**問** 七宝・基目寺地区では児童・生徒や保護者から学校教室がかなり暑くて勉強に集中できないと聞いているが、扇風機などが設置していない学校



加藤 哲生 議員

### 学校への扇風機の設置について

**への対策は。**  
**教育部長** 今後設置に向け各種事業の優先順位を考慮し、引き続き検討を進めていく。  
**問** 地区によっては各教室に1台の移動扇風機を設置しているが、この状況の下で、今後扇風機の増設はできるのか。  
**学校教育課長** 各学校間の学習環境の均衡化を図るため、設置に向けて検

討を進めるべきであると、認識している。  
**問** 6月からの猛暑や残暑も厳しく30度以上の暑い日が続いている現状で、今後の暑さ対策としてエアコンなど拡充を考えているか。  
**学校教育課長** エアコンなどの拡充は、他市町の状況や国庫補助を考慮しながら、今後の課題とさせていただく。  
**市長** 扇風機の設置は必要と認識している。電力

不足などの問題もあり、エアコンに関してはかなりの予算がかかるので、大規模改修など行うときに補助金を活用しながらと考えている。

**問** 災害時要援護者の対象人数は。  
**福祉部長** 正確な把握は困難。現在、民生・児童委員に依頼して調査中。  
**問** 災害時要援護者への情報伝達は。



加藤 正 議員

**福祉部長** 緊急通報用機器を貸与し、緊急通報システムを整備している。  
**問** 福祉避難所の設置については。  
**福祉部長** 福祉避難所の設置や社会福祉施設などとの協定を含め検討する。

### スポーツの推進

**問** スポーツ基本法施行に伴う市の取り組みは。  
**市長** 生涯にわたりスポーツに親しむことができ

る環境づくりを支援する。  
**問** スポーツ推進のための環境整備は。  
**教育部長** 事故やけがの防止に努め、学校体育施設を開放し、スポーツ活動の場を提供する。  
**問** 今後の体育指導委員と地域スポーツ推進員の活動は。  
**教育部長** 職務は変わらないが、法改正で体育指導委員の名称をスポーツ推進委員に変更する。

その他にも人と犬との共生社会について、質問しました。

**問** 総合型地域スポーツクラブの設立は。  
**生涯学習課長** 体育協会やスポーツ少年団の活動が活発で、地域スポーツ推進員などによる事業の開催も盛んに行われているので設立には慎重。



## 小中学校に扇風機の設置を



柏原 功 議員

**問** 文部科学省は「教室の温度は30度以下が望ましい」としている。7月の気温を例に、最高気温は24日あったが、風を送って体感温度を下げる

ことができれば文部科学省の言う望ましい温度になる。近隣市町村の現状は。

**教育部長** 稲沢、弥富、愛西、蟹江で普通教室に設置し、大治町は一部に設置されている。飛鳥村は小中一貫校で全館空調が完備している。

**問** ある小学校では朝8時40分にすでに30度になっていったそうだが、扇風機で風を送れば、体感温度が5度下げられる。

小中学校に扇風機を設置すべきでは。

**教育部長** 設置にむけ、各種事業の優先順位を考慮しながら検討。  
**問** 扇風機設置の優先順位を上げる努力をすべきではないか。

**市長** 必要性について考えは持っているが、優先順位を上げて、まだまだだと思っている。

**ポランティアの支援本部の場所は**

**問** あま市での災害発生時に、地域ボランティア支援本部は、どこに設置をされるのか。また、救援物資の集配場所は。

**安心安全課長** 甚目寺総合福祉会館をボランティア支援本部とし、救援物資は美和高校を予定している。

扇風機の設置が望まれる教室



デイサービスを終え、帰路に向かう利用者

## 介護保険について



野中 幸夫 議員

**問** 来年4月から、改正された介護保険法のもとで介護予防・日常生活支援総合事業を、自治体が創設できることとなったが要支援の方が介護保険

から排除されるのでは。

**福祉部長** 本事業は、介護予防の訪問介護・ホームヘルプサービス・通所介護・デイサービス・権利擁護などのサービスを享受することができるが、サービス内容や職員の資格・人員・事業所の報酬・利用料は自治体の判断。  
**問** 現在の介護保険は、デイサービスなどの人員や施設の運営などは、国

の基準がある。総合事業は、この基準を外すので要支援の方が今まで受けていたサービスを、取り上げられ、専門職以外のボランティアに置きかえられる可能性がある。要支援者のサービスは、自治体が判断することになり、総合事業の導入はいかがなものか。  
**高齢福祉課長** 軽度者のサービス提供が減つていくと考えている。利用者の立場で考えていく。

**問** 総合事業は自治体を選択するものであり、従来どおりのサービス提供が必要。また来年4月は、介護保険料が改定される。当市の保険料は高いので、貯金してきた基金5億7000万円を取り崩して保険料の引き下げと低所得者への軽減をすべきでは。  
**高齢福祉課長** 基金は若干でも取り崩しと、また保険料の軽減も検討していく。



がん検診の受付風景



市を南北に貫く、七宝蟹江線

## あま市の都市計画は



花木 敏行 議員

**問** 都市計画道路は市内に何路線あり進捗状況は。

**建設産業部長** 30路線あり進捗率は34%。

**問** 計画的、効率的に整備するためには事業計画

化が必要だが。  
**建設産業部次長** 計画的なものを策定していきたい。

**問** 市を貫く南北道路の優先度は。

**建設産業部次長** 七宝蟹江線は重要路線であり、現在検討協議調整をしている段階。

### 市街化調整区域は

**問** 調整区域の土地利用から考えると、高齢化・担い手不足により現状維

持が難しいが。

**建設産業部次長** 担い手農家への農地利用集積を進め、保全・効率化を図りたい。

**問** 調整区域の線引きは農家の現状を考慮しているか。

**建設産業部長** 現在都市計画マスタープランを作成中。調整区域のあり方を含め検討していく。

**問** あま市の活性化を考えれば名鉄沿線を起点に市街化区域の編入はでき

ないか。

**建設産業部次長** 市街化区域の未利用地がたくさんあり、まずその部分の基盤整備に重点をおきたい。

**問** 策定中のマスタープランに市民の声が反映されるか。

**建設産業部次長** 地域別の案も作成。ブロック別の地域において説明会を実施予定。

## がん予防対策について



足立 詔子 議員

**問** がん検診の受診率の向上など、がん予防対策について。

①がん検診の受診率、受診率向上の取り組みは。  
②あま市民病院での取り

組みは。

③ピロリ菌の除菌対策を導入しては。

④子宮頸がん予防ワクチンの公費助成は。

**市民生活部長** ①平成22年度の受診率は、胃がんが19・45%、肺がん16・4%、大腸がん15・4%、前立腺がん17・8%、子宮がん23%、乳がん30%。保健センターでの集団検診を、平日以外、土日に

も拡大している。

**市民病院事務局長** ②教育委員会主催の社会教育講座の講演、ポスターの掲示や広報など可能な限り、PRを行う。

**市民生活部長** ③除菌対策は医療行為になり、がん検診の中では実施ができない。

④県の補助によるワクチン接種緊急促進事業が平成24年3月31日で終了し、24年度から、市単独事業として対象者を中学

1年生に限定し継続する予定。

**問** 検診率向上のための予算の確保、予防ワクチン公費助成の拡大予定は。

**市長** 検診者が増えた場合は補正を組むなど対応する。公費助成は、国や近隣の動向も見ながら考えていきたい。





## 公共施設のあり方



倉橋 博 議員

**問** 市の行事、一同に集える公民館、グラウンドを、既存施設の一箇所に拡充できないか。  
**教育部長** 公民館やグラウンドを、市民が一同に集える規模に拡充するに

は、課題が多いため困難と考えている。既存施設を有効活用し、行事を行っていききたい。  
**問** 七宝公民館の見直しは。防災コミュニティプラザを併設し複合施設にしては。  
**教育部長** 合併による重複施設は、有効活用や統廃合について十分に協議を重ね、再編を図るときに重ね、再編を図るとされている。公共施設の適正配置の議論の中で、その有効活用を検討している。

きたい。  
**県事業支援、進展について**  
**問** 県への要請状況は。  
**市長** 市として、県建設事業に対しては機会あるごとに早期実現に向けて積極的な要望活動をし、強く要望などをしていく。  
**問** 継続事業の進捗状況は。  
**建設産業部長** 一般県道給父清須線は今年度完了予定。西今宿東条線は道

路整備用地約80%買収済み。名古屋津島線バイパスは、七宝工区の来春開通予定で、その西の桂川部、下田地区は協議を継続中。都市計画道路七宝蟹江線（旧富塚桂線）の富塚地区は、今後の整備のあり方を研究する勉強会を設置する方向で協議を進めている。

## 旧三町のバランスの良い施策を



櫻井 信夫 議員

**問** 住民の声が届きにくくなったり、今までより不便となっていないか。その中で巡回バス運行は。  
**市長** 巡回バス運行にお

ける形態、運賃、経費などの市負担額などについて、近隣自治体を含めて調査・研究を行ったところ。さまざまな課題が多く今後も引き続き検討していきたい。  
**問** きめ細かいサービスが受けられなくなるらないか。  
**企画財政部長** 市民サービスセンターに加え、専任の課として、情報課、

安心安全課、社会福祉課、子育て支援課、高齢福祉課および下水道課などを設置して、より細かい市民サービスの提供に努めている。  
**問** 中心部だけが良くなって、周辺部が取り残されないか。合併時には、合併後の将来像を新市基本計画としてまとめ、地域間の格差が生じないように努めるとなっているが。

については、合併協議の段階で、合併後のまちづくりの姿を明らかにするということで作ったものがあり、当然のことながら、最大限尊重して、新市の総合計画を策定するというスタンスである。

副市長 新市基本計画に

七宝地内を運行する福祉センター巡回バス





大雨により冠水した、木田駅前周辺の道路

## 環境問題の施策方針は



横井 敏夫 議員

**問** 環境問題に対して、どのような施策方針を打ち出しているか。環境基本計画はあるか。

**市民生活部長** あま市総合計画の中で位置づけ

る。生活環境の整備、自然環境の保全を掲げる。

**問** 環境対策の実施状況は。

**市民生活部長** 合併浄化槽の整備促進、家庭排水と河川の水质向上。ごみ分別の徹底、資源回収リサイクル。ゴミゼロ運動、地域の環境保全活動の促進など。

**問** 学校教育や社会教育、生涯学習などでの環

境問題の取り扱いは。

**教育部長** 学習指導要領および愛知県教育振興基本計画に基づく。給食残飯など身近な問題から、廃品回収などの体験活動で、問題解決能力を育てる。生涯学習で、エコキッズ調査隊授業を実施。

**問** レジ袋有料化の効果は。

**市民生活部次長** 24年4月より有料化実施の予定。1人年間300枚の使用量を削減。環境への

負担を減らすため。

**問** 環境コンテストのよ

**市長** 現在の事業の充実、循環型社会の形成を目指すことが大切。住んでいて良かったといわれるまちづくりの中で、環境面、経済面、社会面でバランスを配慮しながら、検討していきたい。

エコキッズ調査隊による水路の生き物調べ



## 空き家再生等推進事業の活用は



橋口 紀義 議員

**問** 全国的に空き家が増加。防災・防犯上の問題から、市内でも心配の声がある。20年度に、危険な廃屋を撤去する場合などに国や地方公共団体が費用を補助する「空き家

再生等推進事業」を創設しているが、活用は。

**建設産業部長** 当市は対象地域に該当しない。

**問** 空き家などの管理不全を未然に防ぎ、環境保全や防犯のまちづくりに寄与することを目的とした、適正管理に関する「条例」を制定している市もあるが、認識は。

**総務部長** 当市も「安全安心なまちづくり条例」に、条項を定めている。

**木田駅周辺地域の水害対策は**

**問** ゲリラ豪雨により、木田駅周辺は3年連続で浸水被害が発生。駅周辺整備に併せて、駅南の側溝や水路も整備を行う予定だったが。

**建設産業部長** 木田駅周辺地区まちづくり協議会が現地視察を実施する。委員の皆様の意見を聞きながら、総事業の中で、どこまでできるかも含め判断したい。

**問** 蟹江川の西側に用水路がある。しかし、草が生い茂り機能していないが管理は。

**建設産業部長** 宮田用水土地改良区が水路の清掃、草刈りを例年9月から10月に実施。

**問** 美和中学校東側の用水路は、ガードレールも無く危険。ふたをして安全確保を。

**建設産業部長** 検討する。





名古屋市五条川工場



八穂クリーンセンター



市民病院

## 市民病院について



水谷 康治 議員

**問** 新築移転は、前回の説明では平成26年度開院予定でしたが、今回の特別委員会では、27年度と1年延期ということ、現状の進捗状況は、どうなっているのか。

**市民病院事務局長** 市民病院建設調査特別委員会に候補地およびスケジュールについて報告して、その後用地関係者、地元区長、関係役員に事業計画に係る説明会を開催し、用地買収単価を算定するため不動産鑑定評価業務に着手したところ。

**問** 評価結果を踏まえ、用地交渉に入る予定。

**問** 県の認可は、場所が変わったため再申請しなければということ遅れ

る心配もあるが。また医師、職員の集まりが悪いように聞いていたが、現在、医師などの待遇給料の、他病院との差はどうか。

行い、平成25年度中に着工予定。  
**市民病院管理課長** 職員の給料に関する条例に基づき支給している。県内公立病院（18病院）と比較しても大きな差異はない。

## 被災地のがれき処理市の対応は



藤井 定彦 議員

**問** 被災地でもがれきを処理する仮設焼却炉の建設予定地について、地元住民の反対運動がある。大村知事が処理能力に余裕がある自治体に受け入

れを求める発表について把握しているか。

**市民生活部長** 県は放射能廃棄物や有害物質は受け入れないと発表。八穂クリーンセンターでは、廃棄物が汚染されていないこと、地元住民の同意を得ることを前提として、受け入れ予定。

**問** ごみに対して証明書があっても放射能がゼロでなければ大変不安であ

る。旧甚目寺町分のごみを名古屋市五条川工場で焼却をしているが、五条広域事務組合の構成市町として、この問題の会議はされたのか。

**市民生活部次長** 名古屋市の五条川工場と五条広域事務組合とのものでは会議はない。

**問** 焼却灰、煙突からの放射能検出と他の地域では問題が起きている。汚染廃棄物による被害の拡散は、絶対に避けねばな

らないが、名古屋市に強く申し入れるべきでは。

**市長** 中間貯蔵施設の場所の決定が、先に問題になってくる。国、県の動向を把握し、なおかつ名古屋市の方策を情報収集して、協議の段階で我々の訴えるものは訴え、住民の方々のご意見、そして未来ある子どもたちの健康管理に関して、もしっかりと把握して協議をしていきたい。

## あま市議会

## 検索

<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

○議会中継…本会議での一般質問の様子や議長など役員改選時の臨時会の模様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネルにて放映します。放映は生中継とその日の午後7時から再放送しています。

○会議録検索…本会議や委員会の会議録を公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。

本市議会では、上記のほかにも、次期議会の日程予定や議会だよりもホームページにて公開しています。お気軽にご覧ください。

# あなたも議会を傍聴しませんか？

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろう。あなたの身近なことも議会で論議されているのかもしれない。あま市役所甚目寺庁舎の3階の議会事務局の受付で、住所・氏名などを記入していただくだけで、誰でも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。



次回の定例会は、**12月2日（金）**からの予定です。

## 「市民の声」を

来月号から、こちらのスペースに「市民の声」の掲載を企画しています。対象者は、どなたでも結構です。「あま市議会だより」に対して、「市民の声」として、掲載させていただきたいと思います。

- ・応募方法は FAX、郵送、Eメールなどにて
- ・あて先は 〒490-1198 愛知県あま市甚目寺二伴田76番地 FAX 052-444-4055 Eメール giji@city.ama.lg.jp
- ・文字数は 50字以上、350字以内でお願いします。
- ・応募期限は 平成24年1月20日までです。
- ・応募にあたって 住所、氏名、電話番号を必ず記載してください。採用された方には、議会だより編集特別委員会より予めご連絡申し上げます。また、氏名は「市民の声」の記事に合わせて、掲載させていただきます。

あま市議会だよりに対する「市民の声」の、皆さまからの多数のご応募を、編集特別委員会一同、心よりお待ちしております。どうぞお気軽にお寄せください。なお、応募数によっては、掲載されないこともありますので、よろしく申し上げます。

## 募集します

## 12月定例会予定

12月2日(金)	議案説明
12月8日(木)	一般質問
12月9日(金)	議案質疑
12月13日(火)	総務文教委員会
12月14日(水)	厚生委員会
12月15日(木)	建設産業委員会
12月21日(水)	討論・採決

※日程は変更となる場合があります。

## 編集後記

台風12号、15号に伴う記録的な豪雨は各地に河川の氾濫や土砂崩れをもたらしました。

あま市議会では、防災のまちづくりへと多くの質問がありました。議員の市政への姿勢が伺える場でもあります。ぜひ議会傍聴においでください。  
(加藤哲生)

### ■議会だより

#### 編集特別委員会

委員長	加藤 正
副委員長	加藤 哲生
委員	杉藤 憲二
委員	新間 賢治
委員	吉川 景男
委員	花木 敏行
委員	八島 進
委員	水谷 康治
委員	足立 詔子